



東北大学

2012年6月21日

報道関係者各位

東北大学大学院工学研究科

復興デザイン国際シンポジウム

Memorial Landscape International Joint Studio : Sendai Coast 2012

開催のご案内

東日本大震災により仙台市沿岸部は多大な被害を受けました。未だその復興の歩みは始まったばかりです。今年度、東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻では、今回被害にあった方々への鎮魂の思いや災害への備えの語り継ぎ、さらには災害および被災地への国際的な理解を目的とし、大学院の設計課題を海外5大学と共同で実施致しました。その成果を元にし、今後の復興像への議論を深めるため、下記の通り国際シンポジウムをおこないます。

多くの皆様のご臨席をお待ちしておりますので、広くご周知いただきますようお願い申し上げます。

記

復興デザイン国際シンポジウム

Memorial Landscape International Joint Studio : Sendai Coast 2012

日時：2012年6月30日（土）13時～17時20分

会場：東北大学工学部センタースクエア（中央棟2階大会議室）

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6

参加方法：一般公開・参加費無料

【本件に関するお問い合わせ先】

東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 建築空間学研究室
助教 佃 悠

TEL：022-217-6375

E-mail:tsukuda@tjogi.pln.archi.tohoku.ac.jp

以上

Sat. 30th June 2012 | TOHOKU UNIV SCHOOL OF ENGINEERING CENTER SQUARE CONFERENCE HALL

Memorial Landscape International Joint Studio : Sendai Coast 2012 | International Symposium

Memorial Landscape International Joint Studio Sendai Coast 2012

復興のテクノロジー

× 環境のリ・デザイン

2012年6月30日[土] 13:00-17:20

東北大学工学部センタースクエア2階大会議室
〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6
一般公開・参加費無料

工藤国雄[コロンビア大学]

ジェシー・ライザー[プリンストン大学] ※スタジオのみ参加

梅本奈々子[スイス連邦工科大学ローザンヌ校]

ジェyson・ペイン[UCLA]

シュー・ウェイゴウ[清華大学]

本江正茂+小野田泰明+石田壽一+堀井義博[東北大学]

復興 国際 デザイン シンポジウム

©河北新報社

参加大学: プリンストン大学 (アメリカ)
コロンビア大学 (アメリカ)
カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (アメリカ)
スイス連邦工科大学ローザンヌ校 (スイス)
清華大学 (中国)
東北大学 (日本)

主催: 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻
共催: 東北大学災害科学国際研究所 (IRIDeS)、せんだいスクール・オブ・デザイン (SSD)
東日本大震災における建築家による復興支援ネットワーク[アーキエイド] (Archi + Aid)
後援: 仙台市、杜春会 (東北大学建築学科同窓会)



Sendai
School
of Design

Archi+Aid
Relief and Recovery by Architects
for Tohoku Earthquake and Tsunami

問い合わせ先: 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻
022-217-6375/tsukuda@tjogi.pln.archi.tohoku.ac.jp (担当: 佃)



仙台駅からの交通アクセス

[仙台市営バス]
仙台駅前西口バスプール9番
乗り場から工学部経由動物公園
園循環、宮教大、青葉台、成田
山行きに乗車、「工学部中央」
で下車。
乗車約20分、運賃220円

駐車場所はございません。
公共交通機関をご利用下さい。

Editorial Design : Haruka Tsukuda/
Takahiro Endo/Mao Sawada

2011年3月11日の東日本大震災とそれに伴う津波で、仙台市沿岸部の景色は一変しました。

人々が生活を営んでいた豊かな田園風景や松林は一瞬で消え去り、一部は居住禁止区域として、公園などへの転用などが検討されています。しかし、この広大な被災地の復興像に関する議論は始まったばかりです。従来の都市機能を補完する豊かな環境の構築だけでなく、低頻度ではあるが確実に起こる津波への対策、さらには今回被害にあった方々への鎮魂の思いや災害への備えの語り継ぎなど、多面的なデザインが必要とされています。

こうした難しい問いに、私たちはどのように応えることが出来るのでしょうか。今回、世界の著名な建築教育拠点である6大学-プリンストン大、コロンビア大、UCLA(以上アメリカ)、ローザンヌ工科大(スイス)、清華大(中国)、そして東北大(日本)が、この敷地をそれぞれの設計課題として取り上げ、学生とともに解法に挑んだのは、こうした難題を国際的に共有することで、復興の可能性を広く、そして深く探求しようと考えたからでした。

仙台東部道路以東、七北田川から名取川の間東西2km、南北15kmに及ぶ広大なエリアの復興デザインが、それぞれの大学で同時に問われた訳ですが、このシミュレーションを通して、仙台沿岸部の被災地域、発災後の東北と拠点都市仙台、さらに大きく言えば、日本がこれから向かう復興のありようが、間接的に見えてきたように思います。

シンポジウムでは、第一部として、各大学による復興提案の紹介を行い、それぞれの復興観を共有します。続く第二部は、第一部で示された提案を元に、今後の復興の可能性について議論する予定です。

大変お忙しいこととは思いますが、万障繰り合わせのうえ、ご参加いただければ幸いです。

日時
2012年6月30日[土] 13:00-17:20

会場
東北大学工学部センタースクエア2階大会議室
〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6

一般公開・参加費無料
司会=小野田泰明

プログラム

13:00 開会

開会挨拶

奥山恵美子 仙台市長
原信義 東北大学理事

13:20 [第一部]

震災の傷跡-復興提案に向けて
小野田泰明

13:40

復興のかたち-各スタジオからの提案

スタジオマスターによるプレゼンテーション
Sendai: A Requiem City for Future/工藤国雄
Tabula Sublimis Sendai:
Rethinking the Large Project/梅本奈々子
Infrastructural Ambivalence/ジェイソン・ペイン
Redevelopment of the Land/シュー・ウェイゴウ
Reality of Reconstruction/本江正茂

15:40 休憩

15:50 [第二部]

復興のデザインと可能性
スタジオマスターによるディスカッション
工藤国雄、梅本奈々子、ジェイソン・ペイン、
シュー・ウェイゴウ、本江正茂

17:20 閉会

スタジオマスター紹介

工藤 国雄 / Kunio Kudo

建築家。北海道生まれ。満州に育ち、アメリカへ渡り、ペンシルヴァニア大、ハーバード大に学ぶ。ルイス・カーンに遭遇し建築の実践的側面に気づく。「バンクグランドシメソンの会議室」、「キンベル美術館」などの設計に従事。1984年よりコロンビア大学准教授、同大学日本建築先端研究本部長として海外における日本建築の紹介に努める。

シュー・ウェイゴウ / Weiguo Xu

建築家。北京生まれ。清華大学卒業後、同大学で教鞭をとる。その後、日本で村野・森建築事務所に入所。帰国後、独立する。2006年に京都大学にて博士号取得。2007年にMIT 客員研究員。2004年から ABB 北京国際建築ビエンナーレキュレーター。中国を代表する建築家の1人であり、現在、清華大学教授、同建築学院院长。

石田 壽一 / Toshikazu Ishida

建築家。東京都生まれ。1995年 東京大学工学系研究科建築学専攻 博士課程単位取得満期退学、博士(工学)。九州大学芸術工学研究院教授を経て、現在、東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻教授。著書に「低地オランダ」(1998 丸善)など。第5回ロッテルダム国際建築ビエンナーレ/パラレルケース最優秀賞。

梅本 奈々子 / Nanako Umemoto

建築家。京都府生まれ。大阪芸術大学環境デザイン学科、クーパー・ユニオン建築学部卒業。ジェシー・ライザーと1986年以来、「ライザー+ウメモト、RUR Architecture P.C.」を共同主宰。作品に「0-14タワー」など多数。現在、スイス連邦工科大学ローザンヌ校客員教授をはじめ、多くの大学で後進の育成にあっている。

ジェイソン・ペイン / Jason Payne

建築家。1994年、南カリフォルニア建築大学から学士号を、1995年、コロンビア大学から先端建築設計科学修士号を取得。2000年にグヌーフォームを設立。作品は「Raspberry Fields」など、マテリアルのダイナミック性を形態にとり込むことを第一に、研究と実践的なアプローチを試みている。アメリカ次世代を担う若手建築家である。

本江 正茂 / Masashige Motoe

建築家。富山県生まれ。博士(環境学)。作品に「時空間ボエマー」、「MEGAHOUSE(阿部仁史と共同)」など。現在、東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻准教授。せんだいスクールオブデザイン校長。建築家による復興支援ネットワーク「アーキエイド」事務局長。IT技術を用いて、建築の可能性を広げるキーパーソン。

ジェシー・ライザー / Jesse Reiser

建築家。NY生まれ。1984年、クランブルック芸術大学修士課程修了。1985年、アメリカ・アカデミーのローマ賞フェロー。梅本奈々子と1986年以来、「ライザー+ウメモト、RUR Architecture P.C.」を共同主宰。2014年に「高雄ポートターミナル(台湾)」完成予定。現在、プリンストン大学教授。アメリカを代表する世界的建築家である。

小野田 泰明 / Yasuaki Onoda

建築計画者。石川県生まれ。1993年東北大学大学院博士(工学)取得。せんだいメディアテーク(伊東豊雄設計・2001年)など全国で先駆的プロジェクトを立ち上げる。日本建築学会賞会員。現在、東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻専攻長・教授。建築家による復興支援ネットワーク「アーキエイド」の中心メンバー。

堀井 義博 / Yoshihiro Horii

建築家。大阪府生まれ。京都工芸繊維大学工学部環境学科卒業、同大学大学院博士前期課程造形工学専攻修了。1992年-2000年、株式会社UPMに勤務。2000年-2002年、スイス連邦工科大学チューリヒ校に勤務。2002年より0110110 architects設立。現在、東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻非常勤講師。仙台在住。